

regimen 詳細

aclarubicin	14mg/m ² /日	D1~D4	
アクラシノン			
cytarabine	10mg/m ² /12h	D1~D14	s.c.
キロサイド			
G-CSF	200 μg/m ² /日	D1~D14	s.c.
フィルグラスチムBS			

特記事項

- Ara-C及びG-CSFは皮下注を原則とするが、持続点滴でもよい。
- 70歳以上に対するACRの投与量は10mg/m²/日とする。
- D7または8の血液または骨髄での芽球の残存量が高ければ、D8~D10に適宜ACRを追加してもよい。
- 本治療中に重症感染症などの高度の合併症を生じた場合、治療を中止しても良いが、できるだけD8までは施行する。
- 治療終了後の白血球減少期に重症感染症が発症した場合には、骨髄が低形成で白血病細胞が著減していれば、G-CSFを使用しても良いが、できるだけ短期間とする。
- 第1コースの効果判定は原則として化学療法終了後4週間以内に行う。
- 1コースでCRは得られなかったが、効果が得られそうな症例では少なくとも2コースまでトライする。その場合、ACRの投与期間を6~7日まで延長する。